

地域おこし協力隊通信 (No.26) KKBふるさとCM大賞で準グランプリを獲得!



10月19日(金) 鹿児島市のアミュ広場でふるさとCM大賞の審査会が行われ、中種子町の地域おこし協力隊が制作した作品が準グランプリを受賞しました。

ふるさとCM大賞はテレビ局が主催し、テレビコマーシャルを通して多くの方々にふるさとの素晴らしさを知ってもらおうという企画です。

通常のCM放映料は高額となりますがコンテストに参加し上位の結果を収めると、無償で多くの放送機会が割り振られるという仕組みです。現在では全国の21県で開催されているようで、鹿児島では2002年からKKB(鹿児島放送)が主催しており今年で17回目となりました。

表彰式では賞状と楯が贈呈され、副賞の放送機会はグランプリに次ぐ40回を獲得しました。KKB(鹿児島放送)をご覧の際はお目にかかれるかもわかりませんので、

是非チェックしてみてください。

CMの内容は町内の13人の様々な職業の人が「ぎゅぎゅっ!」と登場し、種子島のクビレ部分に位置する中種子町を印象付ける作品で、30秒の中に伝えたい想い(先月号の広報誌の協力隊通信に山村隊員が記載。)が凝縮されています。

機会があればどうぞご覧になってください。

■特別番組の放送予定

11月25日(日)
午後2時~午後3時25分
各参加自治体の作品や授賞式の様子がご覧いただけます。(松田)



風踊る島へ 2018 種子島 ALOHA フェスティバル

10月20日から21日までの2日間、2018種子島ALPHAフェスティバルが開かれ、島内外から多くの来場者がありました。

1日目はハワイからフランダンスの指導者、クム・メレアナ・マヌエルさんを迎えてのアウアナワークショップが種子島中央体育館で開かれ、参加者はその本格的な指導に、熱心に取り組んでいました。

また、夜は中央公民館でウエルカムパーティが開かれ、参加者らは地元食材を使った料理や舞台での納官和太鼓Dスタイルや町連合青年団による「あっちゃめ」を楽しみ、最後は全員でいろいろないき音頭を踊り親睦を深めました。

2日目は、種子島こりーなでエキシビジョンがあり、島内外から34チーム、総勢282人が出場し、様々な目を見張るパフォーマンスに、会場に訪れた人々の大きな歓声と手拍子、そしてステージと一体となって楽しむ姿が見られました。



アロハ・ジェネ・スタジオ
ミリミリクラス



左から 武田みどりさん(司会)
クム・メレアナ・マヌエルさん(指導者)



地元男性チーム「ホク・ラニ」